



日・パプアニューギニア投資協定



背景

- 鉱物・エネルギー資源(金・銅・天然ガス)が豊富
 - 天然ガスの開発が本格化
-
- ・ LNG(2014年生産開始予定)の約半分が日本向け輸出(年間総輸入量の約5%)
 - ・ 日本企業も大型LNGプロジェクトに参画

意義

- ◆ 投資環境の透明性、法的安定性、予見可能性が向上
- 我が国からの投資の更なる保護・促進

【経済界からの要望も強い】

ポイント

- ◆ 二国間の投資を促進し、投資家の権利を保護する法的な枠組みを定める。
- (例)
- ① 投資財産の設立後の無差別待遇
 - ② 投資財産に対する公正な待遇・十分な保護
 - ③ 投資阻害要因となり得る要求(現地調達, 技術移転等)の原則禁止
 - ④ 正当な補償等を伴わない収用の禁止
 - ⑤ 投資受入国・相手国投資家間の紛争解決手続



- ◎ 在留邦人:
261人(2011年10月)
 - ◎ 駐在日系企業:
15社(2013年9月)
 - ◎ 進出分野:
天然ガス開発, 林業, セメント等
- (参考)
- ◎ 英, 独, 豪, 中, マレーシアと投資協定を締結済み

PNG側は国内手続を既に完了